

我々ヒトにはないけれど、
多くの動物がもつ「しっぽ」。
その多彩な形や動きから、動物
たちの暮らしと進化を読み解き、
さらに、ヒトがなぜしっぽを失ったのか、しっぽ
に何を思い描いてきたのかを
考えます。

Lecture series

—研究の最先端—

no.170

レクチャーシリーズでは、
様々な分野で活躍する研究者にご講演いただいています。

2026年度は、4名の先生方に
研究の面白さや可能性についてお話を伺います。

一緒に研究の世界へ。
中高生も大歓迎です。



アクセス
京阪電車「出町柳駅」より
徒歩約15分。
市バス停留所「百万遍」より
徒歩約2分。
※駐車場がありませんので、
公共交通機関をご利用ください。



もしも、しっぽが生えたなら — 動物たちが語るしっぽのひみつ —

2026.10.10
sat.
10:30~12:00

東島 沙弥佳

京都工芸繊維大学応用生物学系



<先生からのメッセージ>

もしも自分にしっぽが生えたなら、どんな形でどんなふうに使ってみたいですか？動物たちのしっぽの形や動きに耳を傾けながら、ヒトである自分の体や心についても思いを馳せてもらえたら嬉しいです。



<会場>

ミュージアボ（総合博物館1階 自然史展示室内）

<申し込み>

不要です。直接博物館へお越しください。

※ 満席の場合はご参加いただけないことがありますのでご了承ください

<参加費>

無料です。（ただし入館の際に博物館の観覧料が必要です。）

<お問い合わせ>

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

E-mail info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

URL <https://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

